

令和6年度 第4回 浜松市立亀玉中学校運営協議会 (要点記録)

- 1 開催日時 令和7年2月7日(金) 14時30分から16時30分まで
- 2 開催場所 浜松市立亀玉中学校 第2会議室
- 3 出席委員 澤木達治、渡邊剛一、阿部永、西尾孝治、仲山句子、黒飛三千子、高林毅、
入戸野元張(学校支援コーディネーター)
- 4 欠席委員 鈴木斉
- 5 オブザーバー 栴 通安(亀玉協働センター)
- 6 学校 杉浦有美子(校長)、米山哲哉(教頭)、村瀬美恵子(CSディレクター)
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 村瀬美恵子(CSディレクター)
- 9 議長の選出 会長が本日の議長を務める事を申し出て、全員異議なくこれを承認した。
- 10 協議事項
(1) 学校関係者評価及び来年度の経営方針について
(2) 学校運営協議会自己評価について

11 会議記録

授業参観をした後、会議を開始した。澤木会長より今後の部活動の在り方にふれ、軟式野球のクラブチーム参加、ソフトテニスのオープン参加(合同・連合)についてのあいさつ、杉浦校長より、地域に温かく育てられている事への感謝と、部活動での生徒の姿と学校の様子についてのあいさつがあった。

続いて、教頭から委員総数8名の出席があり、過半数に達しているため浜松市学校運営協議会規則(以下「規則」という)により会議が成立し会議を開始する旨の報告があった。

第3回学校運営協議会の議事内容の確認を行い、全員異議なくこれを承認した。

次に2年生学年代表生徒が、11月に行った「職場体験」の発表を行った。体験学習をする中で、気持ちの良い挨拶、明るく働く姿勢、行動に自信をもつこと、女性の仕事の難しさと厳しさ、人を支える・助けること、ライフワークバランス、そして仕事を楽しむ大切さ等、多くの気づきと学びがあった。

発表の後、委員から感想をいただいた。

- ・大学生になり職業を考えた自分と比較して、中学2年生の皆さんに感心した。(澤木会長)
- ・将来につながる真面目な取り組みが出来て幸せ。紹介してくれた事に感謝したい。(渡邊副会長)
- ・すごい発表を聞いた。大人の中での緊張とかかわりは今後の夢の実現に生きる。(黒飛委員)
- ・今の中学生は良い経験、行動が出来ている。悩みながら生きてほしい。(高林委員)

学校は、生徒の希望する職種に行けるように、時間をかけて調整をはかった。今後も、入戸野学校支援コーディネーターとの関係を密にして職業体験学習を進めていきたい。

最後に入戸野学校支援コーディネーターへ感謝の気持ちを「手作り職場体験新聞ファイル」にして渡した。

(1) 学校関係者評価及び来年度の経営方針について 米山教頭・校長

米山教頭より、学校評価アンケートの報告がありその後質疑応答を行った。「亀中ウエルビーイング」よりよく生きるための心身の健康づくりに向けた活動と、「亀玉スタディ」「マイテーマ学習」君たちはどう生きるか、を追究し自分なりの考えをまとめる活動を行っている。高評価の割合が4月に比べ伸びている。生徒たちの間にマイテーマ学習が浸透してきている結果だと思う。集団の中での自分の在り方を評価する項目も90%前後生徒が「そう思う」という結果がでており、対話を重視した生徒指導の成果だと感じている。学習面に関するものは若

干評価が下がっている。生徒自身が厳しい評価をしている事から今後の課題として挙げられると思う。

いじめ、不登校に対する対応についても学校から報告された。複数職員での聞き取り対応と校内支援の充実、外部機関との連携に重点をおいた実践に努めている。丁寧な指導のおかげで、本年度は大きな問題はない。

○ マイテーマ学習について1年生の方が、先に学んでいる2年生より高評価なのはなぜか。(澤木会長)

● 中学校入学後の小学校との比較の中での1年生の学びの成果であり、またマイテーマ学習2年目の成果と受け止めている。(米山教頭)

○ 1年生は中学校に入学後、小学校との環境の変化を敏感に感じて意識が高まっている伸びであり、2年生は学校への慣れもあるのではないかと。生徒と保護者、共に学校への評価は高く、学校教育に対してプラスに評価している。学校の方針はこのままで良いと考える。(渡邊副会長)

質疑応答を経て、令和6年度の学校関係者評価は皆に承認された。

次に来年度の経営方針について校長より資料を基に説明があった。その後質疑応答を行った。

令和7年度学校経営構想・・校訓は「鹿玉を磨く」。教育目標は「持続可能な社会を担う、自己効力感を高める生徒の育成」。メインテーマ「君たちはどう生きるか」。「鹿玉スタディ」「マイテーマ学習」「鹿中ウエルビーイングアクション」そして教職員研修・地域連携を推進する。

○ 地域への愛着に向けて、防災訓練への参加により、地域皆でやる事の大切さを学んでほしい。

今後、生徒全員の参加を呼び掛けてほしい。(澤木会長)

● 中学生の地域防災での役割と働きは、重要に考えている。(米山教頭)

○ 学校の電話対応について、緊急性の有無に不安がある。(高林委員)

● 電話は、ある程度の時間以降は自動メッセージ対応にしている。生徒の帰宅後の問い合わせ希望はわかるが、さくら連絡網を活用するようにしたい。年度初めに保護者に周知したい。(米山教頭)

質疑応答を経て、令和7年度の経営方針が皆に承認された。

(2) 学校運営協議会自己評価について 米山教頭

委員の自己評価表をまとめたものを見ながらご意見をいただいた。

来年度の目標は、今年度同様の活動の内容で、特に生徒が「地元」「地域」を愛し、将来なりたい自分を探せるように「生の体験」を多くできる機会を増やす事に重点をおき取り組んでいく。

令和7年度の学校運営協議会の目標と活動内容が皆に承認された。

(3) 今後の部活動について 杉浦校長

浜松市における「休日の部活動の地域移行」の取り組みについて、動画での説明がされた。

令和8年9月以降のイメージ図を見ながら、現状が少しずつ変わり始めている事実を共有し、今後の生徒の休日の過ごし方と地域クラブの在り方について、皆に承認された。

○「見守りウォーキングマップ」(鹿玉地区交差点危険箇所)の紹介が、桜オプザバーからあった。

12 今後の予定と連絡 米山教頭

夢育やらまいかCS加算については予定通り、合唱指導の講師への謝礼として使用した事の報告。承認された。また、来年度の委員については1名が任期満了により退任する事が報告された。新規に1名の委員を迎える事を報告し協議会を終了した。

次回会議は、令和7年4月23日(水)13時30分から開催する旨の報告があった。